

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	文化財課	職	課長	氏名	辻江 冬樹
評価者	組織	文化財課	職	課長	氏名	辻江 冬樹

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	有形・無形文化財等の保存と活用	国・県指定文化財等件数	件	850 (R7)	870 (R3)	881 (R4)	A
		輪島漆芸技術研修所卒業生(累計)	人	919 (R4)	913 (R3)	920 (R4)	
施策2	埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用	埋蔵文化財センター入館者数(年間)	人	19,690 (R4)	9,135 (R3)	13,733 (R4)	C

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	有形文化財等の保存と活用	件	850 (R7)	870 (R3)	881 (R4)	有形文化財等保存・活用事業 ※1	県民・所有者等	82,426	67,989	B	継続
施策2	課題1	埋蔵文化財の公開・活用	人	19,690 (R4)	9,135 (R3)	13,733 (R4)	埋蔵文化財発掘調査促進・公開・活用事業 ※2	県民	686,390	638,316	B	継続

※1 内訳

有形文化財保存事業費	30,359	22,613
伝統的建造物群保存地区保存事業費	15,662	13,115
史跡名勝天然記念物保存事業費	30,255	27,144
世界遺産推進事業費	4,860	4,456
いしかわ歴史遺産推進事業費	1,290	661

※2 内訳

開発事業関連分布調査等事業	4,250	4,713
埋蔵文化財緊急発掘調査受託事業費	672,887	624,350
埋蔵文化財緊急発掘調査費	3,943	3,943
古代ふれあい体験事業費	5,310	5,310

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 有形文化財等保存・活用事業	事業開始年度	H8	事業終了予定年度	
	根拠法令	文化財保護法他		
	計画等			

作	組	織	文化財課
成	職	氏名	主任主事 大熊 祥
者	電話番号	076 - 225 - 1841 内線 5624	

事業の背景・目的
本県の歴史・文化を反映した有形文化財等の適切な保存・整備及び積極的な公開・活用を図る。

事業の概要

- 1 有形文化財(建造物、美術工芸品)の保存と活用
 - (1) 老朽化の著しい建造物及び美術工芸品についての保存修理事業
 - (2) 有形文化財の積極的な公開・活用の促進
- 2 記念物(史跡・名勝・天然記念物)の保存と活用
 - (1) 損傷の著しい記念物についての保存修理事業
 - (2) 史跡等の公有地化や復元整備事業による積極的な整備・活用の促進
- 3 文化財に係る各種調査の推進及び普及啓発
 - (1) 文化財の価値を明らかにするための各種調査事業
 - (2) 調査成果に基づく文化財指定の促進
 - (3) 世界遺産登録推進等の普及啓発活動への助成
- 4 文化財の活用による地域活性化
 - (1) いしかわ歴史遺産による文化財の地域活性化への活用の推進

(単位:千円)

事業内容	事業実施主体	事業費		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
有形文化財保存事業費	所有者	58,035	32,892	22,613
伝統的建造物群保存地区保存事業費	所有者	13,240	15,109	13,115
史跡名勝天然記念物保存事業費	県・市町・所有者	24,066	33,697	27,144
世界遺産推進事業費	キャンペーン推進会議他	4,600	4,121	4,456
いしかわ歴史遺産推進事業費	石川県	560	705	661
合計		100,501	86,524	67,989

施策・課題の状況							
施策	有形・無形文化財等の保存と活用					評価	A
課題	有形文化財等の保存と活用						
	指標	国・県指定文化財等件数				単位	件
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	850	839	846	864	870	881	

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	101,717	105,631	103,312	90,547	82,426
	決算	97,999	97,139	100,501	86,524	67,989
一般	予算	101,717	105,631	103,312	90,547	82,426
	決算	97,999	97,139	100,501	86,524	67,989
財源	事業費累計	3,242,489	3,339,628	3,440,129	3,526,653	3,594,642

評価	
項目	評価: 左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</p> <p>文化財に係る各種調査の推進により、国・県指定文化財等の件数は増加している。(R4:11件) また、老朽化の著しい建造物や美術工芸品の保存修理、史跡等の公有地化や復元整備、いしかわ歴史遺産により、文化財の保存・活用を進めた。</p>
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">継続</p> <p>引き続き、本県の個性豊かな歴史と文化を保存・継承し、内外に発信するため、文化財の掘り起しに努め、文化財指定を進める。 また、建造物や美術工芸品等の保存修理を推進するため、文化財パトロールなどにより、文化財の保存管理状況を把握し、保存修理事業の計画的な実施に努める。</p>

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査促進・公開・活用事業	事業開始年度	H10	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	文化財保護法等		

作成者	組織	文化財課			
	職・氏名	課長補佐 柿田 祐司			
	電話番号	076 - 225 - 1842 内線 5627			

事業の背景・目的
埋蔵文化財の発掘調査等を促進し、適切な保存に努め、調査成果等の積極的な公開・活用を図る。

事業の概要

- 1 埋蔵文化財分布調査等の実施
 - (1) 開発事業等に伴う埋蔵文化財分布調査等(資料調査・現地踏査・試掘調査)の実施
 - (2) 現状保存を目的とする範囲・内容・性格等把握のための埋蔵文化財確認調査等の実施
- 2 開発事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等の実施
 - (1) 農業基盤整備事業等に伴う農家負担分に係る発掘調査等の実施
 - (2) 国等の機関が行う開発事業等に伴う発掘調査等の実施
 - (3) 個人住宅建設等に伴う発掘調査等の実施
- 3 埋蔵文化財保存・公開・活用事業の実施
 - (1) 埋蔵文化財の保存・公開に係る出土品保存処理の実施
 - (2) 埋蔵文化財の公開・活用事業の実施

(単位:千円)

事業内容	事業実施主体	事業費		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
開発事業関連分布調査等事業 ・埋蔵文化財分布調査等の実施 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施	石川県	4,400	4,950	4,713
埋蔵文化財緊急発掘調査受託事業 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施	石川県	973,215	749,135	624,350
埋蔵文化財保存事業 ・埋蔵文化財分布調査等の実施 ・埋蔵文化財確認調査等の実施 ・埋蔵文化財発掘調査等の実施 ・出土品保存処理の実施	市町	4,343	3,909	3,943
古代ふれあい体験事業 ・埋蔵文化財周知・紹介事業の実施 ・埋蔵文化財公開活用事業の実施	石川県	7,253	5,328	5,310
合計		989,211	763,322	638,316

施策・課題の状況						
施策	埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用				評価	C
課題	埋蔵文化財の公開・活用					
指標	埋蔵文化財センター入館者数(年間)			単位	人	
目標値	現状値					
令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
19,690	19,349	18,410	8,341	9,135	13,733	

事業費						
(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算	1,116,034	1,316,825	1,119,157	890,470	686,390
	決算	838,511	913,115	989,211	763,322	638,316
一般財源	予算	9,032	9,282	10,095	8,698	8,723
	決算	9,032	9,378	10,170	9,048	8,955
事業費累計	12,995,148	13,908,263	14,897,474	15,660,796	16,299,112	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	埋蔵文化財調査については、国土交通省道路・河川事業に伴う発掘調査などの事業者の発掘要望に全て対応できた。 また、埋蔵文化財センターの入館者数について、令和4年度は13,733人と、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染予防対策を講じながら各種古代体験、講演会等の普及啓発事業を実施することにより、埋蔵文化財の公開・活用が図られている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、開発事業等に伴う発掘調査を促進するとともに、歴史・文化のシンボルとしての埋蔵文化財の積極的な保存・公開・活用を図るため、発掘成果等を公開するほか、県内の埋蔵文化財関連施設や博物館等とも連携しながら、埋蔵文化財センターの利用促進に向け普及啓発に取り組む。